

日時

2026年10月29日(木) 15:10-16:00

会場

第6会場
(国立京都国際会館 2F Room B-2)



第1部

Dry Eye Research Award



オーガナイザー

福岡大学医学部
眼科学教室
主任教授

平山 雅敏

ドライアイリサーチアワードは、涙液・角結膜上皮およびドライアイに関する優れた若手研究者の育成を目的として、2005年に開始いたしました。応募対象を過去1年間に国内・海外に発表された学術論文とし、当研究会世話人からなる選考委員により、最新の優れた研究論文著者3名を選出、当セミナーの講演にてベストアワードが決定されます。



ドライアイモデルラットにおけるカルシトニン遺伝子
関連ペプチド陽性角膜神経の異常再構築

演者 金沢医科大学医学部薬理学 清井 武志



マイクロバイームは脂質代謝を介して角膜創傷
治癒を調節する

演者 慶應義塾大学医学部 眼科学教室 小川 護



ヒトマイバムおよび涙液の包括的脂質
プロファイリングとその比較解析

演者 北海道大学大学院 薬学研究院 城島 啓佑



第2部

ドライアイ点眼の実臨床における 使い分け

ドライアイ診療では、涙液層の破綻様式から不足成分を見出す Tear Film Oriented Diagnosis (TFOD) と、それを補う Tear Film Oriented Therapy (TFOT) が基本となる。ドライアイ点眼薬としてはヒアルロン酸ナトリウム、ジクアホソル、レバミピドに加え、2026年には14年ぶりに新規作用機序を有するTRPV1拮抗薬モツギバトレブ点眼液が登場した。本講演ではTFOD/TFOTの考え方を軸に、各点眼薬の特徴と位置づけを整理し、病態や症状に応じた実臨床での選択と使い方について解説する。



座長

杏林大学医学部
眼科学教室
非常勤講師
重安 千花



演者

京都府立医科大学
眼科学教室
客員講師
小室 青

共催

第80回日本臨床眼科学会
ドライアイ研究会

